



ビューリー 第1回 はえばる美瓜(ナベラー)山川産地交流会 開催

～ 講演会・プロジェクト発表・表彰式・目揃い会・試食会 ～



南部農林高校生による事例発表



最優秀賞を受賞した神里ヨシ子さん



県中央卸売市場の川上光男氏による講演

1月19日にヘチマの販売促進、消費拡大、料理の掘り起こしと地域内交流を目的に地域農業総合指導事業の一環で、南風原町山川集落センターに62名が集まり、第1回はえばる美瓜（ナベラー）山川産地交流会を開催しました。

会では、講演「ヘチマの出荷流通状況と産地への期待（県中央卸売市場・川上光男氏）」、事例発表「地域の島野菜を広めよう！～ヘチマをもっとおいしく食卓に～（南部農林高等学校）」と、おきレシナーベラーレシピコンテストの最優秀賞授与式が催されました。また、まーさんナベラー料理3品「ばくだんビューリー（コンテスト最優秀賞作品）」、「ヘチマサターアングギー（南部農林高校の試作品）」、昨年度の試食会人気No.1の「ナベラーピーナツ酢味噌和え（山川あみの会）」を試食しました。

参加者からは、「料理の勉強になった」「もっと、このような総合的な交流会を開いて欲しい」「生産者間で意見交換し、定量出荷できるようにしたい」という声があがりました。

※「ナベラー」＝南風原町山川地域の方言で「ヘチマ」のこと

また、ヘチマの目揃い会では施設栽培農家6人、JA営農指導員、南風原町役場職員、協同青果の佐久川氏、中央卸売市場の川上主幹、農研センター棚原主任研究員等が参加し、市場で評価の高い果実の形状、きれいな箱詰めの方法、栽培・収穫時の注意点が話し合われ、野菜品評会出品に向けて充実した学習の場となりました。



目揃い会の様子

ばくだんビューリー



ナベラー 3～4本
天ぷら油 適量

材料（3人分）

- つゆ
- 醤油 50～70cc
- 水 150～200cc
- にんにく 3～4個
- 生とうがらし 3～4個
- 酢 少々
- 本だし 半袋

作り方

- ①ナベラーは薄く皮をむいて4等分にしてタオルペーパーで水気をとります。
- ②つゆを作ります（にんにくはつぶし、生とうがらしはハサミで切る）。
- ③ナベラーを熱した天ぷら油で少し焦げ茶になるまで強火で揚げ、②のつゆに入れて出来上がり。

トルコギキョウの良品切り花生産のためのポイント(ほ場の準備について) ～根を伸ばして、良品づくり～

トルコギキョウは沖縄の冬期の温暖な気候により、需要期である冬春期出荷作型において優位に出荷できる有望品目として、県外市場からの注目度が高い作物です。近年、新規に取り組む生産者も増えてきており、今後産地としての認知度も高まってくると予想されます。今回、トルコギキョウの土づくりについて、いくつかポイントを紹介いたします。



1. ほ場の選定、根が伸びやすい環境作りが重要

トルコギキョウは直根性の植物で根が深く伸び、排水性が良く、保水性に富んだ土壌を好みます。排水性が悪い固い土壌では生育が悪く、草丈が短くなる可能性があります。トルコギキョウの栽培に適するほ場を選びましょう。また、土壌の物理性を改善するためにココピートなどの土壌改良資材やススキなどの粗大有機物を投入すると、より生育が良くなり効果的です。ほ場の排水対策として明渠、暗渠の設置やサブソイラーの使用も有効です。土壌の物理性や排水性を意識した畑づくりを心懸けましょう。

2. 肥料と堆肥の多投に注意

トルコギキョウは土壌中の窒素が多すぎると、以下のような生育不良を起こすことがあるので、肥料等の投入量に注意が必要です。

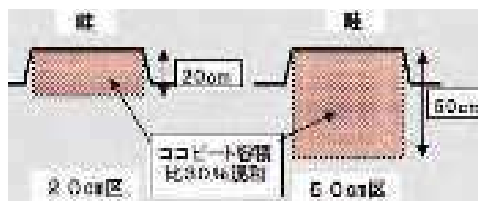
- ・花蕾が発育を停止する症状 (ブラスチング)
- ・葉先が枯れる症状 (チップバーン)
- ・根の伸長が阻害され生育が悪くなる。

また堆肥の施用量が多いと、草丈が伸びず、十分な切り花の長さを得られないことがあります。

3. 土壌診断が必要

上記の他にも pH や塩基バランス、腐植などトルコギキョウの土づくりにおいて重要な要素は様々です。畑によって肥料成分が蓄積している場合もあるので、土壌診断に基づいた施肥設計を行う必要があります。肥料が蓄積している場合は、緑肥栽培などによる除塩や減肥を行う必要があります。また、土壌消毒は連作障害対策に有効です。

ココピートの施用試験について (供試土壌：ジャーガル)



(←ココピートを混和すると草丈が伸び、深さ 20cm まで混和した区よりも 50cm 混和区の方が良く伸びた。)

沖縄県農業研究センターの試験では、より深い作土層にココピートを混和すると、根が深くまで伸長し、草丈の伸長が促進することが分かりました。物理性が悪い土壌では、物理性を改善しトルコギキョウの根がより深く伸長し易くすることが重要です。

※沖縄県農業研究センター野菜花き班試験成績書より

・根が伸びやすい土壌環境づくりを意識しましょう。

→排水性、保水性が良いほ場を選択しましょう。物理性が悪い土壌ではココピートなどの施用が有効的です。

・肥料や堆肥を過剰に施用しないように注意しましょう。

→ECの目安は0.4ms/cm以下。標準的な施肥量は窒素成分で5.0～6.0kg/10a以下。

・土壌診断結果を基に施肥設計をしましょう。

→目標とするpHは6.5付近。酸性土壌の場合は特に注意してpHの矯正を行いましょう。

おきなわ花と食の フェスティバル 2015

2015/ 1/31 - 2/1

花き・野菜・果樹品評会

農林水産大臣賞 受賞!!

那覇市 渡嘉敷 光秋氏
小ギク 太陽のきらら



八重瀬町 大田 洋氏
ピーマン ちぐさ



農林水産省生産局長賞
具志堅 雄也氏

部門	賞名	受賞者	特別賞	品目(品種名)	市町村
花き	金賞	渡嘉敷 光	農林水産大臣賞	小ぎく (太陽のきらら)	那覇市
		金城 弘	日本花き生産協会会長賞	スレシリア (オレンジアリス)	南風原町
		(株)日貿ファーム	九州花き卸売市場連合会長賞	トルコギキョウ (冬のマジック)	八重瀬町
野菜	金賞	大田 洋	農林水産大臣賞	ピーマン (ちぐさ)	八重瀬町
		具志堅 雄也	農林水産省生産局長賞	さやいんげん・関東 (ケンタッキーブルー)	南城市
		金城 重光	沖縄県議会議長賞	かぼちゃ (えびす)	南風原町
		金城 利夫	沖縄県農業協同組合 中央会会長賞	ちんげんさい (夏賞味)	那覇市
		大城 昌栄	沖縄県協同青果株式会社 社長賞	きゅうり (輝世紀)	糸満市
		瀬長 進	沖縄県農業共済組合 組合長理事賞	ハーブ・バジル (スイートバジル)	豊見城市
果樹	最優秀賞	赤嶺 之昭	沖縄県知事賞	スターフルーツ (美ら星)	南風原町
	優秀賞	金城 義隆	内閣府沖縄総合事務局 農林水産部長賞	パッションフルーツ (紫系統)	糸満市



沖縄県議会議長賞
金城 重光氏



最優秀賞
赤嶺 之昭氏



優秀賞
金城 義隆氏



日本花き生産協会会長賞
金城 弘子氏

今年の花と食のフェスティバル園芸品評会には花き418点、野菜347点、果樹57点と県内各産地から多数の出品物が集まりました。沖縄本島は昨年10月に台風の接近があり、品目によっては作況に影響があったなか、南部からの出品物の多くが賞に輝きました。生産者の技術力により成し得た栄えある受賞です。

(園芸技術普及班：與那嶺かおる)

部門	賞名	受賞者	品目(品種名)	市町村	
花き	金賞	新垣 勝次	小ギク(すく)	糸満市	
		新垣 進	小ギク(太陽のいずみ)	糸満市	
		島袋 政信	小ギク(太陽の金華)	久米島町	
		宮平 渉	小ギク(みさき)	南城市	
		仲間 健哉	小ギク(仲のくぬ)	八重瀬町	
		仲間 幸一	小ギク(仲のくぬ)	八重瀬町	
	銀賞	喜納 勝男	小ギク(みさき)	八重瀬町	
		新垣 弘子	小ギク(太陽のいずみ)	糸満市	
		照屋 拓	小ギク(太陽のほたる)	糸満市	
		赤嶺 欣	バラ(アフロポリス)	豊見城市	
		花城 サエ子	クッカバラ	八重瀬町	
		新垣 奈津樹	大ギク(精興の誠)	久米島町	
銅賞	安村 敬秋	大ギク(精興の誠)	久米島町		
	仲間 幸一	小ギク(熱)	八重瀬町		
	仲間 三枝子	小ギク(仲のくぬ)	八重瀬町		
	喜納 成子	小ギク(みさき)	八重瀬町		
	喜納 勝男	小ギク(風の彩徒)	八重瀬町		
	仲村 五月	小ギク(風のあやか)	八重瀬町		
	照屋 睦子	小ギク(太陽のほたる)	糸満市		
	金城 裕亮	トルコギキョウ (キングオブオーキッド)	那覇市		
	金城 政光	スレシリア (オレンジアリス)	南風原町		
	果樹	優良賞	赤嶺 菊子	スターフルーツ(シラン)	南風原町

部門	賞名	受賞者	品目(品種名)	市町村
野菜	銀賞	大城 秀樹	トマト(りんか409)	豊見城市
		赤嶺 喜一郎	トマト(りんか409)	豊見城市
		瀬長 清	ミニトマト(小鈴)	豊見城市
		大城 安宏	きゅうり(輝世紀)	南風原町
		宮城 徳正	きゅうり(アルファ-節成)	南風原町
		赤嶺 孝則	なす(筑陽)	那覇市
	銅賞	東江 泰彦	大型ピーマン(ちぐさ)	八重瀬町
		眞境名 武信	ハーブ・バジル(スイートバジル)	那覇市
		新垣 清一	キャベツ(ビューティーボール)	那覇市
		金城 敬満	トマト(りんか409)	豊見城市
		東風平 朝敏	トマト(りんか409)	那覇市
		赤嶺 敬夫	ミニトマト(小鈴)	豊見城市
銅賞	金城 栄仁	きゅうり(アルファ-節成)	南風原町	
	神里 靖	へちま(在来種)	南風原町	
	赤嶺 義光	なす(筑陽)	南風原町	
	東江 栄次郎	大型ピーマン(ちぐさ)	八重瀬町	
	東江 正春	中型ピーマン(みおき)	八重瀬町	
	平仲 健	さやいんげん・関東(サーベル)	八重瀬町	
銅賞	金城 栄	さやいんげん・関東(大型平さや (ビッグリジャンボ))	南城市	
	津波古 充治	キャベツ(ビューティーボール)	那覇市	
	親川 敏子	クレソン	南城市	

環境にやさしい農業をはじめませんか?

～ 肥効調節型肥料を用いた施肥技術の紹介 ～

農産物の栽培に用いる化学合成肥料に含まれるチッ素成分のうち、作物に吸収されなかった過剰分は、硝酸塩として地下水に流入したり、河川等を富栄養化する等の環境汚染を引き起こします。

環境に配慮した施肥を行うには、土壌分析を行い、ほ場と作物に合わせた施肥量を事前に把握してから栽培するのが基本です。

今回は、それに加えて「作物に吸収されやすい様にゆっくりと効く肥料」を用いた施肥量低減技術として紹介します。

緩効性肥料は一見価格が割高なため、使うのを迷う方が多いと思います。しかし、以下のカンダバーでの事例では、基肥に「単肥と緩効性肥料」を組み合わせることで、その後の追肥を不要にしています。

この施肥設計では、肥料代と収量は概ね同じですが、追肥にかかる労力と施用チッ素量が軽減でき、環境にやさしい省力的な栽培が可能です。

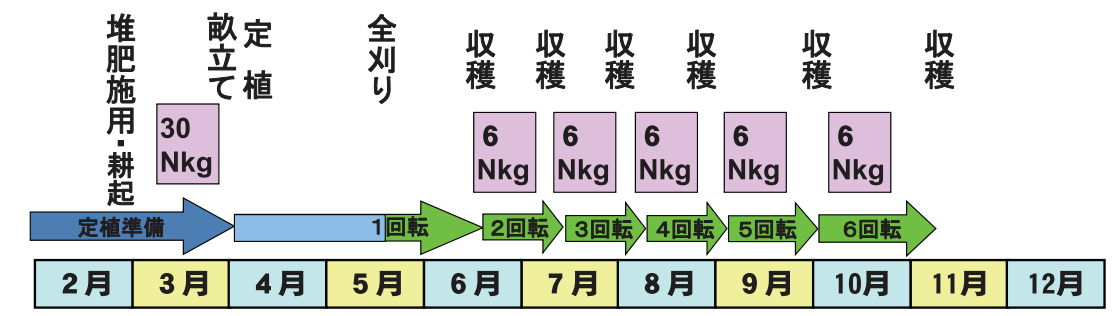
(地域特産振興班：高橋 健)

カンダバーの肥効調節型肥料施用技術事例のポイント

	肥料費	収量	労力	施肥量(チッ素成分)
慣行栽培	同等	同等	多	100%
肥効調節型肥料施用技術	同等	同等	少	70%

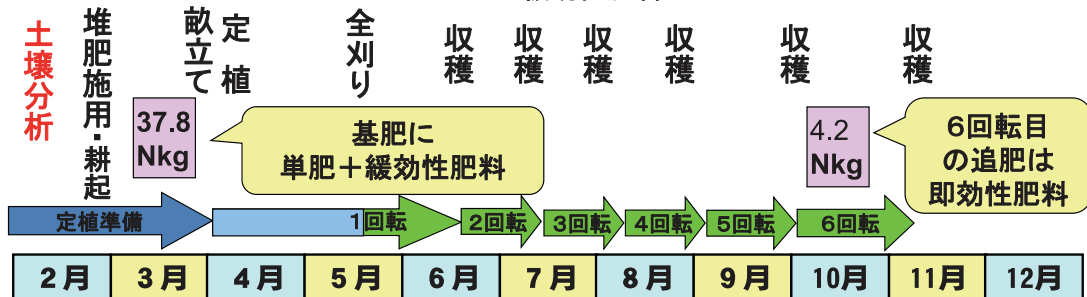
慣行基準

※使用肥料：化成804、カンコク、BB(14-5-8)等の速効性肥料



肥効調節型肥料施用技術

※使用肥料：硫安+IBワンス(N:P:K=12:6:6)等の緩効性肥料



※ チッ素の施肥量は10a当たり換算値。

肥効調節型肥料を用いたカンダバーの施肥設計(例)

さとうきび春植え ポイント！

南部地区では、1月15日から製糖が開始しました。収穫とあわせ、これから迎える「春植え」のポイントをご紹介します。発芽を良くし、初期生育を確保することが増収への大きな一歩です。発芽が揃った畑には自然と足が向かいます。今一度、春植えのポイントを確認し、実践していきましょう！

植え溝施用で効果増！

- 肥料(基肥)
- メイチュウ類防除粒剤

苗質が発芽を左右！

- 採苗・調苗の徹底

植え付け後は！

- かん水
- 土壌処理用除草剤
(カーメックスD、ダイロンゾル、センコル等)

採苗・調苗

○良い苗を採り、以下のような苗は使用しない。

- ・芽が硬化又はつぶれた苗
- ・芽が伸びた苗
- ・メイチュウ類被害等の見られる苗

施肥・防除

○基肥として、植え溝に**きび肥料2～3袋**(300坪当たり)を施用。

○メイチュウ類防除の**粒剤**を施用。
(**オンコルOK、アドバンテージS**など*)

植え付け

○植え溝の深さは20～30cm、覆土は3～5cm

○覆土後、苗と土が密着するよう適度に填圧

○植え付け後は、必要に応じ、**かん水**を行う

○植え付け後は、**土壌処理用除草剤***を散布

春植えの時期	基準苗数(二節苗)
1月～3月	2,400本

* 苗数は、苗質に応じて2～3割程度増

*1 JA支店購買でご確認・ご相談の上、ご使用下さい

さとうきび害虫イネヨトウの共同防除

さとうきびに甚大な被害をおよぼすイネヨトウの発生が連続し、減収を招いていることから、イネヨトウ発生密度や被害低減を目的として、各地域でフェロモンチューブの設置による共同防除を行います。同防除では、さとうきび増産基金や一括交付金が活用されます。

設置作業は、生産農家、関係機関・団体が4名1組の班を編成し実施します。

設置作業に向けた班長説明会等の日程は生産組合、市町、JA等を通じお知らせします。

さとうきび増産に向けた設置作業にご理解とご協力よろしくお祈いします。

【設置作業日】

- ・3月9日(月)与那原町、南城市知念
- ・3月11日(水)豊見城市
- ・3月12日(木)南風原町
- ・3月15日(日)南城市大里・佐敷
- ・3月22日(日)南城市玉城、八重瀬町東風平・具志頭
- ・3月26日(水)糸満市三和地区



イネヨトウ被害のさとうきび畑

生産農家の皆さんへ(協力依頼)

- ①畑でのフェロモンチューブの設置 (設置作業に伴う畑への出入り)
- ②フェロモンチューブを**外さないで下さい**(人や作物等への影響はありません)
- ③収穫・更新などの作業に支障がある場合は、**地面に付けずフェロモンチューブを移動**させ、作業終了後、元に戻して下さい

※地域全体にフェロモンが十分充満するように配置するため、**チューブが設置されない畑も出ますが、効果に支障はありません**



さとうきび畑にフェロモンチューブを設置した状況

フェロモンとは！

フェロモンとは、メスがオスを誘き寄せるため発する匂いのことです。さとうきび畑にフェロモンを充満させると、メスとオスの出会いをさまたげ、交尾の機会を奪います。その結果、イネヨトウの繁殖・密度が抑制される、新たな防除の仕組みです。

新たに農業を始める方のための無利子資金が「青年等就農資金」に変わりました

平成26年度より新規就農者の定着促進に向けた無利子資金制度の見直しがあり、従来の就農施設等資金が「青年等就農資金」に変わりました。また、今後新たに農業を始める方が認定新規就農者となるために作成する「青年等就農計画」の認定は市町村が行うことになりました。

資金の主な見直し内容としては

- ①対象に法人を追加
- ②農業経営を開始してから一定期間は青年等就農計画の申請が可能
- ③運転資金の借入期間を5年に拡充
- ④実質無担保・無保証人による貸付けなどがあります。



青年等就農資金の内容

1. 対象者

新たに農業経営を営もうとする青年等(これらの者が役員のお半数を占める法人を含む)であって、市町村から青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者

※青年就農計画の認定主体は都道府県から市町村に変更

2. 借入条件等

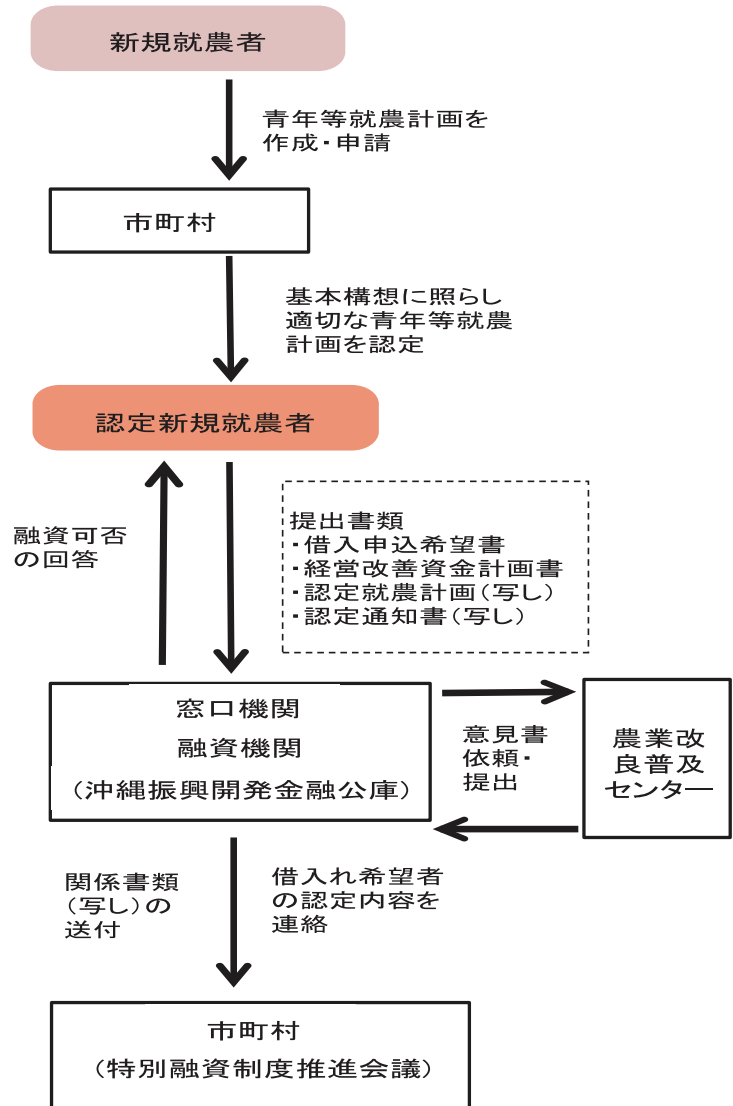
- (1)資金用途：施設、機械の取得等(農地の取得は除く)
- (2)貸付利率：無利子
- (3)借入限度：3,700万円
- (4)償還期限：12年以内
- (5)据置期間：5年以内
- (6)担保等：実質無担保・無保証人

3. 取扱金融機関

株式会社日本政策金融公庫
(沖縄県にあっては、沖縄振興開発金融公庫)

※農業等民間金融機関による転貸も可

青年等就農資金の貸付けの流れ



*各申請の際は要件がありますので農業改良普及センター、就農する市町村、沖縄振興開発金融公庫へ事前にご相談ください。

参考：「農林水産省ホームページ」

北大東島農業通信

北大東島の農業はさとうきび作を基本とし、園芸品目のカボチャやバレイショとの輪作で土作りや収益安定化を図っています。

さとうきび

北大東島の基幹産業であるさとうきび生産は、北大東島の経済はもちろん、農地の保全、農村の良好な景観の形成など、農業のもつ多面的機能の発揮に大きく貢献している重要な産業です。

北大東島は区画整理と水源整備は進んできていますが畑かん整備率は22%と低い状況です。

畑かん整備率は低い状況ですがさとうきびへのかん水の意識は高く、点滴チューブによるかん水が定着しています。

収穫はハーベスタ収穫で、収穫体系はハーベスタ＋伴走車でしたが、伴走車の製造中止などによりハーベスタ＋搬出機＋トラックの体系に移行してきています。

品種については、F161、Ni22、Ni28を中心とし、『風折抵抗性』、『黒穂病抵抗性』、『発芽率』、『早期高糖性』などへの関心が高いです。



点滴チューブ設置状況（春植え）



ハーベスタと搬出機による収穫

カボチャ

カボチャはさとうきびとの輪作品目として栽培されています。近年、生産量が伸びており、品質も市場から評価されています。

カボチャ生産状況の推移

項目 \ 年	平成20/21年	平成21/22年	平成22/23年	平成23/24年	平成24/25年	平成25/26年
作付け面積 (ha)	6.8	6.5	5.8	6.2	10.8	12.9
出荷数量 (t)	60	56	40	54	100	143
10a当たり生産量 (t)	0.9	0.9	0.7	0.8	1.0	1.1

（資料：JA おきなわ北大東支店）

生産農家は風対策に最も力を注いでおり、防風垣にさとうきびを活用する技術が普及しています。

また部会のチームワークが強く、頻繁に部会員同士でお互いの圃場見学を行うなどし、優良技術の習得に努めています。



防風垣きびに守られたカボチャ



部会員同士で圃場見学

バレイショ

バレイショも輪作品目として栽培されています。近年は生産が停滞気味ですが、おきなわ花と食のフェスティバル園芸品評会で入賞する等、品質では高い評価を受けています。



入賞したバレイショ



バレイショ生育状況

収穫作業に人手がかかり重労働である事から収穫時には島外からの応援で収穫作業の軽労化に取り組んでいます。

（北大東駐在：安仁屋政竜）

農家紹介

明日のヘチマ・カボチャ産地のリーダー、神里繁雄・靖・和美家族 ～南風原町山川～



ピュウリーくん

神里さん家族は、地元の南風原町山川でカボチャとヘチマを栽培しています。靖さん、和美さん夫婦は就農してまだ1年目のため、栽培歴40年の父親の繁雄さんや地域の先輩にアドバイスを受けながら技術を学んでいます。現在の経営規模は露地約980坪と施設約420坪で、露地では冬春季にカボチャ、夏にヘチマを栽培しています。平成25年度に南風原町地域農業活性化事業で導入した施設では、冬春季採りのヘチマを栽培しています。昨年、播種・育苗期に台風が接近し育苗を順延する農家が多い中、しっかり台風対策を行い、計画どおりに栽培を行っています、その結果、今年の花と食のフェスティバル野菜品評会に出品することができ、銅賞を受賞しました。施設栽培は花粉づけや誘引など作業が多く、栽培方法も手探りのところが多いため苦勞しているようですが、地域の

栽培仲間と連携をとって、金賞がとれるよう盛り上げていきたいと抱負を語ってくれました。



(普及企画班：河村 太)

農家紹介

カボチャ産地を支える青年農業者 南風原町農業青年クラブ 新垣真人 さん



はえるん

新垣真人(38歳)さんは、土木関係の仕事を退職し、昨年1月に就農しました。現在、優良農家である父親から栽培技術を学びながら、農業経営者としての自立を目指してカボチャ栽培(40a)に取り組んでいます。

を得ているようです。その他、真人さんはJAおきなわ南風原支店野菜生産部会にも所属し、先輩農家とも交流を深め、情報収集に努めています。

真人さんは、「日々、植物の生長していく姿を見るのが楽しい。一方で、天候に左右されやすい職業なので緊張感がある。これから、植物を見る目を養い、病虫害診断の力を身につけていきたい。まずは、基本をしっかり身につけることを心がけたい」と話し、農業のやりがいや難しさを実感しながらも栽培技術の習得に意欲的です。

カボチャ産地を支える担い手として、今後の活躍が期待されています。

また、昨年4月に知人に誘われ南風原町農業青年クラブに加入しました。父親も「組織に入ると色々な情報が得られるから」と加入を後押ししてくれたそうです。



(園芸技術普及班:野原正司)

「同世代の農業者との交流で得られる事はとても多く、農業青年クラブの活動を通じて色々な事が学んでいる」と農業青年クラブの活動に充実感